



ヘリコプターによる雪崩パトロールを行いました

湯沢維持出張所管内では例年、積雪がピークをむかえる2月にヘリコプターによる雪崩パトロールを行っています。今シーズンは2月22日(木)に実施しました。

ヘリコプターによる雪崩パトロールには、(独)雪氷防災研究センター 上石勲センター長に同乗いただき、地上から確認することができない、山頂尾根の雪庇状況や、斜面・沢部の堆雪状況の全体把握を行い、今後の雪崩防止の対応について確認しました。

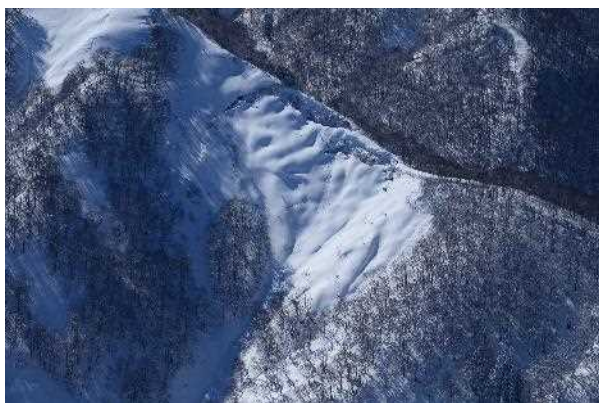
パトロールの結果は、斜面積雪量は多いが雪庇発達等による、積雪の張り出しは小さかった。一部の斜面で全層雪崩の発生原因となる積雪移動によるクラックが見られたことから必要な箇所に雪堤等に対応することとしました。

これから雪崩の危険が高まる時期に入るので、今回のヘリコプターによる雪崩パトロールでの結果を受けて、安全に国道17号が通行できるように雪崩対策をしっかりと行っていきます。

【湯沢維持出張所】



【ほくりく号にてパトロール出発】



【芝原地区】



【ヘリコプターから見る斜面状況】

【火打地区】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版

スマホ版



工事施工技術発表会を開催しました

2月19日(月)に長岡リリックホールにおいて、長岡国道事務所工事安全対策協議会は工事施工技術発表会を開催しました。これは、現場(施工)条件・現場環境が全く異なる各現場において、現場特有の問題点解決のために、様々な工夫や試みの実践内容を、受注者の皆さんから発表していただき、技術力や安全管理の向上を目的に年1回開催しています。

今回で24回目の開催となりますが、工期も重なり多忙の中、協議会構成員より61編の報文をいただき、その中で特に優秀な報文8編【最優秀賞2編、優秀賞6編】を発表していただきました。

発表内容の特徴は、ICTやドローンをはじめとした情報化施工の取り組み、工程に制約ある中での施工方法の工夫、維持管理上の問題解決のための試験、イメージアップによる事業のPR、隅々まで行き渡る安全対策、など々多様にわたっておりました。当日の発表会参加者(153名)からは参考になったという感想も多くいただき、さらに研鑽を積み上げ、今後の発注者・受注者相互の技術力向上、工事現場の安全性向上の一助になっていくことを期待します。

○最優秀賞(発表順)

- ① 路面切削工における情報化施工について
- ② 施工管理の効率化について

長岡舗道株式会社
世紀東急工業株式会社 北陸支店

○優秀賞(発表順)

- ① 軟弱地盤上の盛土における環境対策とICT活用への取り組みについて
- ② 現場におけるイメージアップ対策
- ③ 写真管理におけるドローンの活用
- ④ 歩道の目地草防止対策 試験施工について
- ⑤ スノーシェッド上部工における中埋め架設について
- ⑥ 現場で実施した安全の取組みについて

株式会社 種村建設
株式会社 植木組 柏崎支店
北川ヒューテック株式会社
北陸パブリックメンテナンス株式会社
日本サミコン株式会社 北陸支店
鹿島道路株式会社 北陸支店

【総括保全対策官】

1. 発表の様子



2. 表彰の様子



3. 受賞者記念撮影

